

TONARI

2017 春号

グッドネーバース・ジャパン会報

CONTENTS

- インドネシア地震 子どもの無事を確認
- ハイチ ハリケーン緊急支援 活動終了
- ネパールの子供たちの遊び
- アフリカに100校目の学校が開校
- ちびっこおえかきコンテスト審査会・入賞作品
- 書き損じ・未使用はがきで支援できます
- クリスマス募金のご報告
- 手紙で深まる日本とバングラデシュの交流



海外事業

お知らせ

インドネシア地震 子どもの無事を確認

12月7日にインドネシア・スマトラ島で発生した地震について、アチェ州に事務所を置くグッドネーバース・インドネシアが安否確認を行い、ムラボ地域でグッドネーバースが支援している子ども全員の安全を確認しました。今後も子ども達が安心して、安全に暮らせるよう活動を続けてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

緊急支援

ハイチハリケーン緊急支援 活動終了

カリブ海のハイチを直撃した大型ハリケーン「マシュー」の甚大な被害を受けて始まった緊急支援が、2016年12月20日をもって終了いたしました。今回の緊急支援では、ハリケーンによって被害を受けた世帯に食糧・衛生用品を配布しました。募金にご協力いただきました皆さま、本当にありがとうございました。

支援の流れ

- 10月4日 ハリケーン「マシュー」ハイチを直撃。
- 10月8日 グッドネーバースは現地の被害状況、ニーズを調査し、緊急支援を決定。緊急支援募金を開始。
- 10月14日 ガンティエ地域のダマリ村で135世帯500人を対象に、緊急支援物資を配布。
- 11月1日 日本人スタッフをハイチに派遣。
- 11月28日 ジェレミー郡第5区チャールズ溪谷で700世帯を対象に第1回物資配布。
- 12月12日 ジェレミー郡第5区チャールズ溪谷ディドン地域で810世帯を対象に第2回物資配布。
- 12月20日 活動終了。



ハリケーン直撃後の様子

ハリケーン直撃を受けスタッフを派遣

2016年10月4日、ハリケーンがハイチを直撃しました。8日時点で、死者は842人に上ったと報告されています。(UNOCHA)

グッドネーバース・ジャパンは日本人スタッフを2名派遣し、グッドネーバース・ハイチの活動地域であるガンティエ地域と、被害が最も大きかった南西部において被害状況やニーズの調査を実行。それをもとに支援物資を配布する地域や配布物の内容を決定していきました。

2つのチームに分かれて準備

被害調査の結果、配布地はそれまで政府、国連、NGOからの支援が何も届いていなかったジェレミー郡第5区チャールズ溪谷に決定し、スタッフは現場で住民調査を行うチームと、首都ポルトープランスで物資の準備を行うチームに分かれて活動しました。

住民調査チーム

配布対象地域では住民名簿が存在しないため、調査に時間がかかります。支援の対象となる世帯をすべて登録し、物資引換券を配布しました。



物資の配布準備チーム

ポルトープランスでの配布準備チームは、配布物資および梱包資材等を調達しました。1つの箱に1世帯分の物資をまとめておき、すぐに渡せるようにしておきます。





バケツリレーで運びこんでいきます

支援物資をジェレミーへ

首都の準備チームが用意した物資を、21名のボランティアが4時間弱かけて、トレーラー1台に荷揚げをしました。物資の内容は米、豆、トウモロコシ、料理用油、塩、スパイス、スパゲティ、サーモン缶、トマトソース、洗濯石鹸、石鹸、生理用品、歯ブラシ、歯磨き粉です。

首都ポルトープランスから配布地のジェレミーまで、長い旅が始まります。

2日かけて輸送、一時は混乱も

当時ハイチでは外国人が同乗する車両や、援助団体のステッカーが貼ってある車両が襲われる事件が急増していたため、地元警察や国連軍に誘導を依頼しました。また、道が舗装されておらず南西部は乾季でもスコールが多いため、トレーラーがぬかるみにはまって抜け出せなくなる事態に見舞われましたが、通過中だった他団体の大型トラックの助けを借りて3時間後によく抜け出すことができました。このようにたくさんの人が汗を流して準備してきた支援物資。「何としても届けたい」というスタッフの想いも一層強くなります。そうして2日間かけて配布地域のジェレミーに到着です。

物資配布当日、会場は物資を待ちわびる住民であふれ緊張感が漂っていました。事前に配布した引換券と本人確認を元に1世帯ずつ渡していきませんが、「物資を早く受け取りたい」と思うあまり列が乱れるなど一時的な混乱もありました。

家が壊れ、食料や生活用品も十分でない状態で先が見えない中、これまでじっと耐えてきた住民の心境が、その様子からも伺えます。グッドネーブーズのスタッフに加え現地警察やボランティア、高齢者や女性の手助けをするヘルパーの協力のもと、第1回、第2回ともに無事に配布を終えることができました。



一時はぬかるみにはまり立往生



配布会場には長蛇の列が



ひとつひとつ手渡します

物資を受け取った世帯を訪問

物資配布の翌日には配布を行った地域の各世帯を訪問し、モニタリングを行いました。早速配布された食品を調理していたある家族からは、「配布物の内容が、(食料だけでなく)貰えると思っていた日用品が含まれており、ありがたかった」という声が聞かれました。

また、物資の使用状況や今後の生活についてインタビューを行う中で、被災当時の状況も改めて知ることができました。

「孫はまだ1歳だし、(ハリケーンが上陸したとき)家には娘と孫2人だけだったので、2人が無事だったことは本当によかったです。今は助け合いながら生活しています。すべてのものを失って悲しかったですが、今回物資をもらうことができ嬉しかったです。小さな子どもがいるので食料が必要でした。感謝したいです。」(モウォゼイエさん 62歳女性)

「ごー!っととても激しく強い風のなかで、お母さんと2人ベッドの下に避難し、ベッドの足をしっかり握りしめて必死に耐えたよ。家族が無事で本当によかったです。」(ルクソンさん 30歳男性)



車が入れないため徒歩で移動



話をしてくれたモウォゼイエさん



インタビューする諫山スタッフ

ハリケーンが発生し周りの被災地域に支援が届く中、ジェレミー地域には一切支援が入ってこない状況が2カ月も続いていました。世帯を訪問して話を聞いていると、長らく待ち望んでいた物資を受け取ることができた嬉しさの一方で、仕事や住居などが安定するまでには未だ時間がかかることへの不安も浮き彫りになりました。近所や親戚同士で助け合って暮らしている世帯が多くみられましたが、復興への道のりはまだ始まったばかりです。グッドネーブーズは今後も、必要とされる所で必要とされる支援を行っていきます。

世界の子ども達は普段どのような遊びをしているのでしょうか。今回は、グッドネーバーズが支援している子ども達が通う、ネパールの小学校での様子を教えてもらいました。

遊び編

◆ Ek khute

Ek Khuteは「ジャンプしている間に片方の足で支える」という意味で、ネパールの伝統的な遊びです。休み時間や放課後に女の子達がよくしているそうです。

遊び方

- 1) まず、地面に4つの四角を描きます。
- 2) 次に平らな石を1つの四角に置き、その四角に片足で立ちます。
- 3) そして片足で立ったまま、石を他の3つの四角に移動させます。その時に足が線に触れないようにします。



Ek khuteをして遊んでいる女の子達

◆ Aakha chhofy dum

Aakha chhofy dumは「ハンカチで目隠しをする」という意味で、これもネパールの伝統的な遊びです。男の子も女の子も一緒になって遊びます。

遊び方

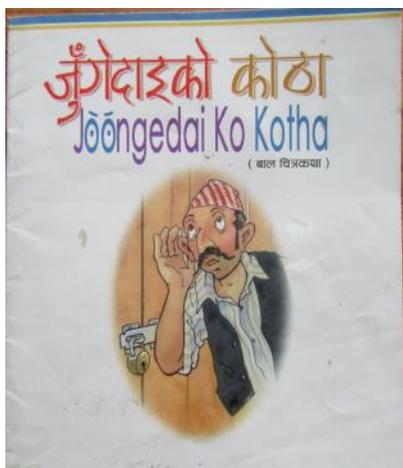
- 1) Dumと呼ばれる鬼になった人がハンカチで目隠しをします。
- 2) 他の人は鬼をからかいます。
- 3) 鬼が周りの人にタッチすると、タッチされた人が鬼になります。



つかまらないように必死に逃げる！

絵本編

子ども達に人気がある「Jooonedai ko Kottha」というネパールの昔話の絵本です。



本の表紙

あらすじ

あるところに、Jooonedaiという男がいました。Jooonedaiはいつも片づけをしません。彼の部屋は汚くて、物がそこらじゅうに散らかっていました。部屋の物達はお世話をしてもらえないことに怒っていました。

ある日Jooonedaiの物達は、いいことを思いつきました。Jooonedaiに彼の悪い癖を気づかせるために、ペンに頼んでノートに書いてもらおうと思ったのです。しかしペンは「自分一人では書けない。ご主人様がいないと書けないんだ。」と言いました。このやりとりを聞いていたJooonedaiは、物達にとてもすまなく思いました。

それから心を入れ替えたJooonedaiは、きちんと部屋を片付け、物達のお手入れもしてあげるようになりました。



◀ 本を読む子ども達

ここで紹介できなかったものや、他の国の子ども達の遊びなども、今後ご紹介していきます。

アフリカに100校目の学校が開校

チャドのヨナスクールから始まった、アフリカのホープスクールプロジェクト。もうすぐ目標としていた100校目のホープスクールが、タンザニアのザンジバルに開校します。

ホープスクールプロジェクトとは？

このプロジェクトは「アフリカ子ども達が学校に通い、夢を追い続けられるようになってほしい」という思いから始められたものです。

2009年にグッドネーバーズの広報大使に就任した故パク・ヨンハさんが、チャド共和国でのボランティアの体験をきっかけに、チャドでの学校建設を呼びかけました。そして韓国や日本から寄付が集まり、2010年に「ヨナスクール」が開校し、これが最初のホープスクールとなりました。そこからこのホープスクールプロジェクトは活動をアフリカの他の国にも広げ、グッドネーバーズのほか、5つのNGOが韓国のテレビ局SBSと協力してプロジェクトを進めています。

10か国46校での成果



生徒
23,044人



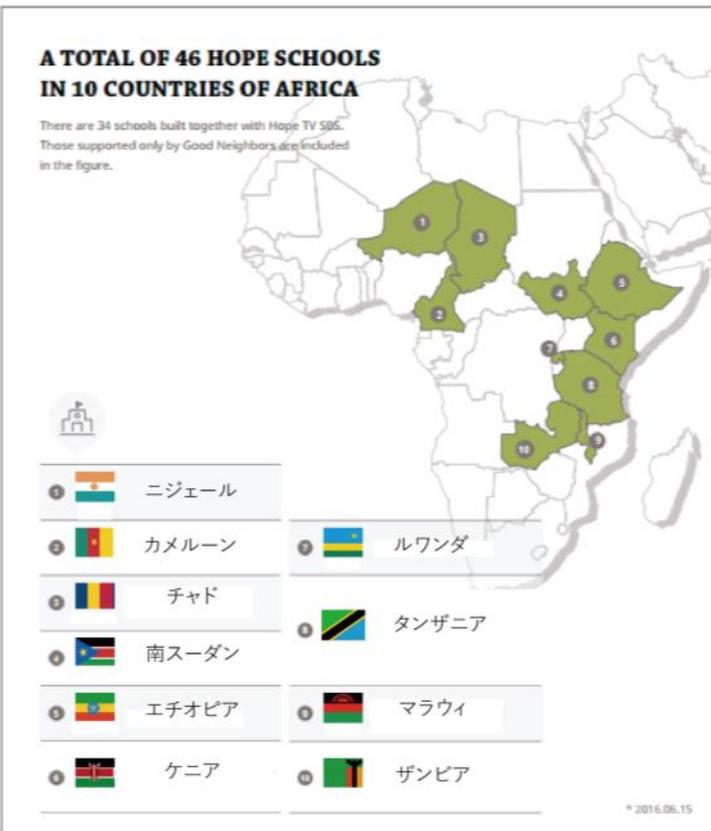
間接的な
受益者
(先生、地域の
人々など)
129,247人

プロジェクトがスタートして約5年。100校のうちグッドネーバーズがSBSと共に建てた学校は、10か国で46校にもなります。

異なる制度や環境をもつアフリカで学校建設を進めるにあたり施工管理、資材の調達、地域住民や自治体との連携など、これまで数多くの課題に直面しましたが、このプロジェクトを通して、アフリカの各地に希望の種をまくことができました。

100校目の開校により、ホープスクールプロジェクトは終わりを迎えますが本当の支援はここから始まります。

グッドネーバーズはこれからも子ども達が夢を持ち続けられるように、子ども達とその地域の支援を続けてまいります。



以前は地面に座って授業を受けたり、学校の屋根が飛ばされて木の下で先生の話の聞いたりしていました。

ホープスクールでは、きれいな教室で机、いすを使って授業を受け、夢を追い続けることができます。



Glad Mwakatobe(12歳) タンザニアホープスクールの生徒



国内事業

レポート

ちびっこおえかきコンテスト審査会・入賞作品

ベネッセこども基金と共催している「親子でチャレンジ国際理解!ちびっこおえかきコンテスト」。今回もたくさん子ども達が素敵な絵を届けてくれました。

このコンテストは、未来を担う子ども達が世界にふれるきっかけを作ることを目的に、発展途上国の問題について映像教材を見て絵を描くことで、親子で国際理解を深め、楽しく学べる教育プログラムです。違う国に暮らす同年代の子ども達の生活を見て、子ども達は何を感じたのでしょうか。



コンテストの流れ



今回はネパールに住むサディップくんの生活を映したDVDを観てもらいました。



審査をしてくださった3名の先生方

あたたかい作品がたくさん寄せられました

今回のコンテストには、全国から計1,217作品が寄せられ、審査会を2017年1月7日に実施しました。

ネパールのサディップくんを応援するために、自分の好きなものをあげたい、好きなことを一緒にしたいという思いを絵に描いた作品や、「学校に行きたい」というサディップくんが楽しく学校に通っている様子を表現した作品など、さまざまなアイデアや思いのつまった絵が集まりました。



また、保護者様のコメント欄には、2015年のネパール大地震で家を失ったサディップくん、「私達も地震を経験しました。がんばろうね。」と応援のメッセージが書かれた作品が多く見られました。災害で家や日常を失う悲しさ、それでもいつかまた学校に行ける日を目指して毎日生きるサディップくんのたくましさ。その様子を、日本での地震の体験を重ねながら、観てくださった方も少なくないことがわかります。

入賞作品のご紹介

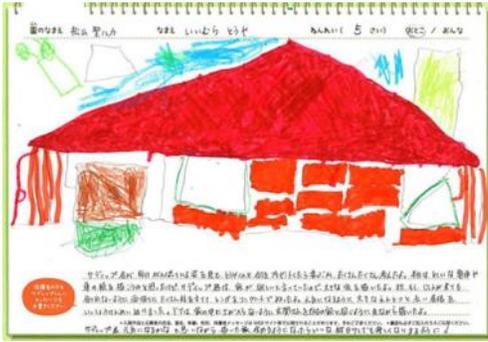
第四回目を迎えた本コンテストですが、今回もたくさんのユニークな作品が集まり、子どもならではの想像力、発想力に驚かされました。どれも素晴らしい作品ばかりでしたが、審査員3名が一点一点じっくり見ながら以下の選考基準をもとに入賞作品を選考しました。

【審査基準】

- ① 発展途上国に暮らす子どもへの想いや応援の気持ちが伝わる
- ② 子どもらしい創造力が発揮されている
- ③ 夢や希望が感じられる絵である

最優秀賞

優秀賞



松山聖ルカ幼稚園
いいむら とうやくん



昭和保育園
よこい けんとくん



遊花幼稚園
せき ありさちゃん

審査員の講評：親子の対話ができいていました。絵を描くときにたくさん考えて、今回の話をふまえて「家」に絞って描いたというところから、お子さんの考える過程が見えました。（最優秀賞作品）

とうやくんの保護者様のコメント

サディップ君が毎日がんばっている姿を見て、とうやくんと、何をプレゼントしたら喜ぶか、たくさんたくさん考えたよ。本当はとくいな電車や車の絵を描こうかと思ったけど、サディップ君は家が欲しいと言っていたので、大きな家を描いたよ。また、もし、じしんが来ても倒れないように両側にたくさん柱を立てて、レンガをコンクリートでぬったよ。元気になるように大きなえんとつと赤い屋根をいっしょうけんめいぬりました。ドアは家の中に土が入らないように玄関マットを自分の家と同じように見ながら描いたよ。サディップ君元気になるかなと思いながら描いた家。住めるようになったらいいな。毎日少しでも楽しくなりますように！

2月25日には表彰式を行う予定です。また、おえかきコンテストの専用ウェブサイトでは他の入賞作品もご紹介しておりますので、ぜひそちらもご覧ください。 <http://chibikko-oekaki.org/4th/>

お知らせ 書き損じ・未使用はがきで支援できます

今年も書き損じ・未使用はがきを回収し、子ども達の支援に活用させていただきます。お家にあるはがき（消印のないもの）をぜひグッドネーバース・ジャパンの事務所に送ってください！

例えば書き損じはがき2枚分（約90円）で、エチオピアでは1人の子どもに食事を提供することができます。

昨年は57,384円分のはがきが集まりました。1通からでも受け付けていますので、ぜひご協力よろしく願いいたします。



レポート クリスマス募金のご報告

クリスマス募金にご協力いただきました皆さま、本当にありがとうございました。

ご報告

・期間 2016年11月21日～2017年1月10日

・寄付額 計 **737,939円**

今回いただいたご支援は、学費や学用品・給食・安全な水・医療などになって、子ども達に届きます。これからも子どもと子どもが住んでいる地域の発展を支え、皆さまのご支援の橋渡しができるよう活動してまいります。

グッドネーバースの支援

- ・学校で適切な教育を受けられるようにする
- ・きれいな水を飲めるようにする
- ・子どもの健康を守る
- ・家族の収入の安定を支援する
- ・コミュニティの自主性・持続発展性を高める

どれかひとつ欠けても子どもが笑顔で暮らせる社会は実現しません。

グッドネーバースは、包括的アプローチで地域全体の発展をサポートしています。



「子どもサポーター」では、グッドネーバーズ・ジャパンが支援している子どもと手紙のやりとりをすることができます。昨年いただいたたくさんのお手紙の中から、印象的だったやりとりをご紹介します。



日本のサポーターさんからの手紙

世界では今、テロがたくさんおきています。バングラデシュでも悲しい事件がありましたね。ソヘル君や家族は無事でしたか？
人種や宗教がちがっていても、同じ人間です。違いを認め合い、手をつなぐことができます。
ソヘル君と私もそうやってつながっていると信じています。どうかやさしい心をもって成長してください。



ソヘル君（14歳）からの手紙

僕も、家族もみんな安全に暮らしています。
僕は将来、立派な大人になって、人種も宗教も肌の色のちがいも忘れられるような国と社会をつくりたいです。
僕のために祈っててくださいね。
あなたのおかげで、僕も勉強をがんばっています。もし機会があったら、ぜひこの国に来てください。僕を支えてくれてありがとう。



サポーターさんが手紙を書かれたのは、昨年の7月にダッカで起きたテロの後でした。遠く離れていても、会ったことがなくても、心配したり心配してくれる人がいるのは特別なことです。こうした温かい交流がもっと生まれて、互いを思い、違いを認め合える世界になってほしいと願うばかりです。



◀ 左：実際の手紙

右：手紙を書くソヘル君

編集後記

こんにちは。アルバイトの横道です。今回は文化紹介でネパールの子どもの遊びと絵本をご紹介しました。日本の昔の遊びと少し似ている気がします。編集しながら、「どんな国の子ども達でも安心して元気に遊んで、健康に育ってほしい」と感じました。日本では春と言えば、新しい出発の季節ですね。私も大学4年生になるので、卒論や就活など新しい挑戦が始まりますが、希望を持って頑張ろうと思います！皆さまにとっても、希望あふれる春の季節になりますように。

お問い合わせ・資料請求

☎ 0120-916-010 (平日10時～18時)

[Email] sup@gnjp.org

住所変更のご連絡をお願いします！

ご住所やメールアドレスを変更されたサポーター様は、お手数ですが、グッドネーバーズ・ジャパン事務局までお電話、またはメール(左記参照)にてご連絡ください。

子どもサポーター

検索

Good Neighbors

発行：認定NPO法人 グッドネーバーズ・ジャパン

〒143-0016 東京都大田区大森北2-14-2大森クリエイティブビル3階

[Tel] 0120-916-010 [Fax] 03-6423-1766 [Email] admin@gnjp.org

[URL] <http://www.gnjp.org> [Facebook] [facebook.com/gnjp](https://www.facebook.com/gnjp) [Twitter] @GNJapan